

令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年3月5日
函館市立柏野小学校

1 本年度の重点教育目標

「互いに学び合い、探究する子ども」

2 本年度の取組の重点

- ◎ 全教職員の経営参画と協働体制の確立
- ◎ つながりと存在感を実感できる学級経営、登校意欲・自信の向上の実現
- ◎ 社会に開かれた教育課程を軸とした教育活動の展開

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
1 主体的に学ぶ力を育て、自らの生き方を創り出す能力を育成する教育の推進	基礎的基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して思考力・判断力・表現力をはぐくむとともに、探究する能力の育成を目指す多様な学習活動の工夫ができたか。	a		A	A	全学級で ICT 機器を活用しての探究活動を行うことができていた。
	主体的な学習習慣の定着を図る取組の工夫・改善を図ることができたか。	a		A	B	話し合い活動の経験が浅い学年があり活動を年間指導計画に位置付けてほしい。
2 すこやかな心を育て、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進	「特別の教科道徳」を中心とした道徳教育の充実を図ることができたか。	a		A	A	
	あいさつや集団生活の約束を身に付けるための指導の工夫を図ることができたか。	b	・あいさつについて考える場面を設定し、自分たちでコミュニケーション能力を向上させる意識を育てる。	A	A	あいさつは豊かな人間関係を築く土台となる。コミュニケーションやの大切さや社会性を身に付けてほしい。
3 健康な体とのぞましい生活習慣をはぐくむ教育の推進	基本的な生活習慣について家庭や関係機関との連携を図った取組の充実を図ることができたか。	b	・ゲーム等の時間やきまりについての指導を徹底するとともに、家庭と連携した取り組みを改善する。	A	A	今後もゲームやスマホとの関りは、これからの時代にとって考えていただきたい。
	体力の向上や運動習慣の定着のための取組の工夫を図ることができたか。	b	・児童が進んで取り組めるようカード等を工夫して意欲を高める。	A	B	取組については実施できたが、実施時期の見直しを図ってより効果的な活用を。
4 学校における指導体制や業務等の改善と充実	教育目標の実現に向けて、教職員が相互に連携しながら取り組むことができたか。	a		A	A	
	学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	a		A	A	
5 保護者・地域住民に信頼される開かれた学校づくりの推進	家庭・地域と一体となった学校運営を推進できたか。	a		A	A	学校と家庭、地域で連携して、様々な危機を乗り越えていきたい。
	コミュニティ・スクールの取組を通して学校・地域・家庭が目指す子ども像や教育目標、学校運営の基本方針を共有することができたか。	a		A	A	学校運営協議会で学校の教育方針の情報共有や授業参観により子どもの実態を見ることができよかった。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。